

レイカディア大学同窓会本部

レイ大必修講座聴講

3月1日(金)10時からレイカディア大学草津校大教室にて、同窓会本部主催の必修講座聴講が行われました。

講師は滋賀県社会福祉協会(滋賀の縁創造実践センター)谷口郁美事務局長で、『“ひたすらなるつながり”だれもが「おめでとう」と誕生を祝福され「ありがとう」と看取られる社会をつくろう』の講義でした。

当日は各支部から34名の会員が参加し、メモなどを取りながら熱心に聞き入っていました。

レイカディア讃歌斉唱



最上段2段が聴講席

ひたすらなるつながり

だれもが「おめでとう」と誕生を祝福され
「ありがとう」と看取られる社会をつくろう



何の数字？

107…今の小学生の平均寿命

8050…80代の親の家に50代のひきこもりの子が
いる

6392…県下の虐待相談件数

「無縁社会」とNHKが表現したのが、2010年
地域での人びとの助け合い、お互いさまの行き来、
ちょっとしたお節介、こういったものが昔と同じでないことは
私たち自身も感じています。

滋賀の縁創造実践センター(平成26年9月発足)

制度のはざまにある福祉課題に対する取り組み、共生社会をつくる
取り組みを、会員が分野と立場を超えて協働し、つくりひろげて
きました。

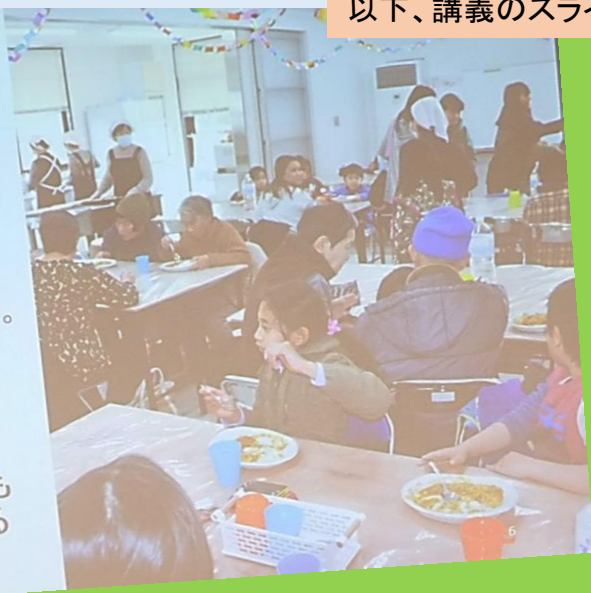
以下、講義のスライド

1 子ども食堂 のこと

滋賀県社協(滋賀の
縁創造実践センター)
は、県民のみなさんと
ともに子ども食堂づく
りに取り組んでいます。

子ども食堂ってど
んなところ？

何のために子ども
食堂をやっている
の？



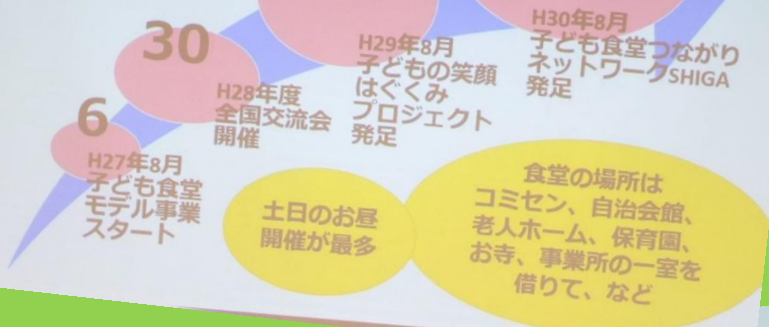
遊べる・学べる 淡海子ども食堂

・運営主体の半分以上は、地域団体や地域のボランティアグループ

・開催頻度は月1回程度が約7割

・学区内を対象とする食堂が半数

・20人～40人規模の食堂が多い



信じられる人との出会い、つながり
人から信じてもらっているという確信
子どもの心身の成長という貯金箱に、このつながりや
経験、気持ちが貯まっていきます。



子どもの笑顔

はぐくみプロジェクト



できること
で応援した
い！といっ
てくださる
方たち

子どもの笑顔を真ん中にお
いてつながってきた“縁”
もっと太く、もっとたくさ
ん、もっと豊かに
そして、一時のものでなく、
未来につなぐものに

子ども食堂
フリー
スペース
社会への架
け橋づくり



2 日々の暮らしのなかで気づくこと

「無縁社会」という社会の状況が明らかに。人の暮らしの多様化とともに、一人ひとりのほんとうの生活が問われてきた。一人ひとりのほんとうの生活が問われてきた。

平成29年度食育白書から

一日の全ての食事を一人で食べている「孤食」

- 週の半分以上、一日の全ての食事を一人で食べている「孤食」の人は約15%で、平成23年と比べて増加
- 家族と一緒に食事することが重要ではあるが、家庭や個人の努力だけでは難しい状況がある。
- 一人で食べたくないが、他の人と時間や場所が合わない、一緒に食べる人がいないといった理由で、仕方なく一人で食べている状況

1人暮らし世帯 2040年には4割に

県内のある市の生活支援ニーズ調査員の印象に残ったこと

- 一人暮らしはさみしい。
- 昨日誰とも話さなかった。
- 家族と一緒に暮らしていても話さなかった。

多くの高齢者が、15分程度で終わる聞き取りに対し、60分～90分と話し続けられました。

「いきいき」は行き来や

僕をよく、「いきいき生きましょう」と言う。健康で生きていくことだけではありません。あきらめず生きていく心と心の行き来。家族や隣人を思いやる物の行き来。医療、看護、介護、福祉の行き来。それらの行き来がうまくいっている時に、人は「いきいき」と生きられます。（京都新聞のコラムから）

心に留めておきたいこと

- 誰でも「助けられてばかり」はつらい。
- 誰でも、自分のことで「助けて」と人に頼むのはしんどい。
- 「ありがとう」は、言うより、言ってもらう方がうれしい。

- うわさ話にしない。「助けたい」と思って、気がかりな人のことを話題にする。
- 「困った人」は「困っている人」かもしれない。
- 「どうしたらいいかな？」というときには、社協職員に相談する。

3 滋賀の福祉人の地域福祉実践

わたしのまちの今、そして5年後、10年後

だれもが「おめでとう」と誕生を祝福され、
「ありがとう」と看取られる幸せな地域であ
るように。

滋賀の福祉関係者も、現場で気づいた制
度の狭間の生活課題に対し、できることを
考え、創り、実践しています。

① フリースペース～特別養護老人ホーム等を活用し た支援を要する子どもの夜の居場所

- 地域には、さまざまな事情から学校に行きにくくなっていたり、家庭の中に安心がな
かったり、子どもらしく大人に甘えることができない状況にある子どもたちがいる。
- フリースペースは、こうした子どもたちが、保護者の承諾(SSWや家児相がつなぎ役)
のもと、安心して、信頼できる大人と時刻を過ごせる居場所

フリースペース 実施体制

スペースと日曜の暮らしの提供、
夜間生活の確保(夕食、風呂、洗濯等)

社会福祉施設等

管理者(施設職員)

子ども

フリースペース

子どもと関わる
ワーカー
(専門スタッフ)

スクールソーシャルワーカーや
子ども・家庭に属する専門職等

子どもや保護者等に接する専門職の連携

- 対象 校区内の小学生を中心に
- 開催日 週1回
- 時間帯 毎週午後6時～9時
- 食事代 100円

- ・ 素直に謝れる
ようになったね
- ・ 将来の夢を話
し始めたよ
- ・ 子どもの笑顔
は素直やわ



② 児童養護施設等で暮らす子どもたちの 社会への架け橋づくり事業

滋賀県では、約350名の
子どもたちが、施設や里親家庭
(ファミリーホーム)で暮らしてい
ます。
施設入所児童の約6割が、被虐
待児童です。

③ ひきこもりがちな人と家族の支援

だれもひきこもらなくてよい地域、
本人や家族が孤立することのない
地域をめざして

甲賀・湖南ひきこもり支援
「奏・かなで-」運営会議
(事務局：さわらび福祉会)

- ・ 甲賀市民児協・湖南市民児協
- ・ 甲賀保健所
- ・ 甲賀市生活支援課、障がい福祉課
- ・ 湖南市住民生活相談室、健康政策課
- ・ 甲賀市社協・湖南市社協
- ・ 県社協

- ◇アウトリーチ部会
- ◇家族支援部会
- ◇地域啓発・交流部会



縁 実践者のことば

支援者同士、活動する人同士がつながって、手をつないで取り組んでいることが宝です。

困っているとか、困っていないとか、勝手に線引きしないでおこうと決めた。何かを求めている人がこれるように。

「福祉のできごと」から「地域のできごと」にしたい。

“無縁”ではなく“ひたすらなるつながり”

「よう来てくれた。待ってたで」、
「あんたの顔見るのを楽しみにしてたんや」。なによりうれしい言葉

えにし＝つながり
私にも、あなたにも、どの人にも大切なもの。
「何かできるんじゃないか」と気づいた人同志
が仲間になって、まずはハラゴシラエ。小さな活動から始めたい！

在校生からの謝辞

